

TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の活動状況

令和2年7月10日 12:00時時点

- 九州地方整備局を中心として全国の地方整備局等のTEC-FORCEを被災地に派遣
- 本日323人のTEC-FORCEが排水活動、被災状況調査、リエゾン・JETT(気象庁)による自治体支援を実施。
降雨の排水に備え、排水ポンプ車57台(うち九州52台)を現地へ配備。
- 引き続き、球磨村をはじめ被災地において、河川、道路、土砂災害等の被災状況調査を実施(うち球磨村(国道219号被災調査)に68人を派遣)。

〔派遣人数 のべ1669人・日
災害対策用機械 のべ568台・日〕

TEC-FORCEによる被災状況調査

○現地踏査等による被災状況調査の実施

現地踏査等により、地方公共団体が管理する公共土木施設等の被災状況を把握。昨日より、これまで未調査であった山間部における土砂流出等調査を開始。



7月9日 湯前町長とともに現地踏査
(熊本県湯前町)



7月9日 現地踏査の状況
(熊本県湯前町)

球磨村における被災状況調査

○甚大な被害を受けた地域の被災状況を調査

甚大な被害を受けた国道219号の道路調査に68人を派遣。迅速な復旧に向けた作業方針等を検討。



7月9日 被災状況調査
(熊本県球磨村)



7月9日 被災状況踏査
(熊本県球磨村)

リエゾンの活動状況

○自治体へのアドバイスや関係機関との調整役としてリエゾンを派遣

被災自治体に赴き、首長等との打合せを通じて、被災地におけるニーズを把握。



7月9日 相良村長との打合せ
(熊本県相良村)



7月9日 湯前町長から要望の確認
(熊本県湯前町)



7月9日 被災状況踏査
(熊本県球磨村)



7月9日 道路啓開の事前調査
(熊本県球磨村)